

# 洪水ハザードマップ

Mapa de Risco de Inundação  
Rencana Banjir dan Gempa Baha  
洪水ハザードマップ

## 紙田川流域・境川(老津)流域

Bacia do Rio Kamihara e Bacia do Rio Sakai-Otsu  
Kamihara River (Bacia do Rio Sakai-Otsu River Basin)  
Kamihara River, Bacia do Rio Sakai-Otsu River Basin

### わが家の防災メモ

台風や大雨時に備えて避難をするためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るか、事前に考えておくことが大切です。ハザードマップを使って、わが家の防災メモを完成させましょう！地図を確認して、該当するところにチェックを記入しましょう。

自然の災害リスク

浸水深	0.0~0.3m未満	0.3~0.5m未満	0.5~1.0m未満
浸水深	1.0~3.0m未満	3.0~5.0m未満	

家屋倒壊等危険指定区域

避難の方法

避難場所

家族が離れたはなれた時の集合場所や連絡方法(災害伝言ダイヤルや各種SNSなど)

家族の連絡先

家族の名前	連絡先(学校や勤務先など)	電話番号

各施設電話番号

災害伝言ダイヤル「171」の利用

消防(火災・救急・救助) 119

警察(緊急) 110

豊橋市災害対策本部(設置時) 51-2055

主な関係施設の連絡先

豊橋市役所(夜間・休日)	(0532) 51-2421
豊橋市民病院	(0532) 33-6111
豊橋医療センター	62-0301

令和5年5月発行 豊橋市建設部河川課 〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所庶務(印) 電話番号: 0532-51-2335 Email: kasensci.cityoyohashi.jp

## 非常時に必要なもの

非常時持ち出し品チェックリスト

貴重品	現金(小銭) 印鑑 預金通帳 健康保険証 運転免許証 権利証書 マネーパークカード 本人・家族の写真(最新のもの)
食料品・水	3日分の食料及び飲料水
医療・衛生用品	救急薬品 常備薬(処方箋のコピー) お薬手帳 衛生用品(歯ブラシ等) 生理用品 トイレットペーパー ウェットティッシュ 経度計 体温計 マスク
避難用品	ヘルメット(防災ずきん) 運動靴(ホイッスル(呼び音))
道具箱	携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器 ラジオ兼ライト(予備電池) 筆記用具(油性ペン含む) 作業用手袋(革手袋) ナイフ 缶切り マッチ ライター
衣類	上着(防寒着) 下着類 タオル 雨具(レインコート)
生活用品	毛布・寝袋 簡易トイレセット 使い捨てコンタクトレンズもしくはコンタクトレンズ洗浄液 予備メガネ スリッパ

家族に合わせた準備をしましょう

▼高齢者がいる家族	▼乳幼児がいる家族	▼妊婦がいる家族
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品類(ゼリードリンクなど)</li> <li>おむつ・紙パンツ等</li> <li>装具の予備杖など</li> <li>持病の薬</li> <li>口腔ケア用品・入れ歯洗浄剤</li> <li>身近な人の連絡先</li> <li>自身の身元を記入したもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミルク・哺乳瓶・離乳食等</li> <li>おむつ・おしり拭き</li> <li>ベビーソープ</li> <li>お風呂ふも・おもちゃ</li> <li>ガゼー・さらし</li> <li>食品アレルギーリスト</li> <li>母子健康手帳・子ども医療費受給済証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>胎産簿</li> <li>ガゼー</li> <li>新生児用品</li> <li>消毒用アルコール</li> <li>母子健康手帳</li> <li>清潔なタオル等</li> <li>マタニティマーク</li> </ul>

非常時持ち出し品は最小限にして、リュックパックにまとめましょう。避難のときに両手自由に使えるようにすることが大切です。

ローリングストック(循環備蓄)は、食料・飲料水などを保存期間が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を指します。定期的な高い備蓄から消費することで、無駄を出さず、いつでも時に限られて使えることを防ぎます。

各施設電話番号

災害伝言ダイヤル「171」の利用

消防(火災・救急・救助) 119

警察(緊急) 110

豊橋市災害対策本部(設置時) 51-2055

主な関係施設の連絡先

豊橋市役所(夜間・休日)	(0532) 51-2421
豊橋市民病院	(0532) 33-6111
豊橋医療センター	62-0301

## 洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップの役割

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が増水・氾濫した場合の浸水範囲と浸水深さ及び各地区の避難場所を示したものです。この洪水ハザードマップを利用して、あなたが住んでいる地区がどれくらい浸水するのか、そのときにどこへ避難するべきなのかを把握しておきましょう。また、自宅の近くにけがれや大雨によって災害の発生が予想される場所がある人は、自主的に早めの避難を心がけましょう。

また、洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。

豊橋市の主な過去の水害被害状況

1959年 伊勢湾台風

伊勢湾台風は愛知県を中心に猛威をふるい、5,089人の尊い人命が失われました。豊橋市でも堤防決壊による洪水、暴風による家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。

2008年 平成20年8月末豪雨

平成20年8月末豪雨は、三河地方を中心に局地的な降雨をもたらしました。豊橋市では、28日のおよそ19時にかけて、総雨量233.5ミリを観測しました。堀内川や内瀬川が氾濫し、193ヶ所の道路が浸水したと大きな被害を受けました。

洪水発生メカニズム

洪水は大雨により川が増水し堤防が決壊したり、川の水が堤防を越えるなどにより発生します。浸水してくると水かさが増え、歩行が困難になるため、早めの避難を心がけましょう。

大雨によって川の水位が増え、水かさが増え、堤防の土圧が増え、一部が崩れ始めます。

堤防の土圧が増え、一部が崩れ始めます。

水かさが増え、堤防が崩れ始めます。

水は堤防の崩れた場所から、勢いよく流れ出て、家などに襲いかかります。

## 情報を入手しよう

防災・災害情報を調べる (PULL型)

1 豊橋市 SNS・ホームページ

●豊橋市 ホームページ(防災・災害情報)

●豊橋市 SNS(防災・災害情報)

●Yahoo! 防災速報

2 スマートフォンアプリ

●防災アプリ Hazardon(ハザードン)

●Yahoo! 防災速報

3 官公庁による配信情報

●私企業 気象庁の警報、雨量情報等

●国土交通省 国土交通省の防災情報

●愛知県 愛知県の防災情報

●愛知県 愛知県の防災情報

●愛知県 愛知県の防災情報

防災・災害情報を受け取る (PUSH型)

1 メール配信

●メール配信

2 テレビ・ラジオ

●ラジオ(FM84.3MHz)

●テレビ

3 同報系防災行政無線

●同報系防災行政無線

4 広報車

●市内広報車

雨の強さや降り方 (1時間雨量)

雨量	被害
10~20mm未満	被害は少ない
20~30mm未満	被害は少ない
30~50mm未満	被害は少ない
50~80mm未満	被害は少ない
80mm以上	被害は少ない

## 避難のタイミングを知らう

大雨・洪水に関する注意報・警報

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

大雨特別警報

警戒レベルの確認

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動を取りましょう。

警戒レベル1

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル2

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル3

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル4

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

●キキル(危険度分布)

「キキル」は大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで起きているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

洪水キキル(大雨警報(浸水)の危険度分布)

洪水キキル(洪水警報)の危険度分布

## 避難のタイミングを知らう

避難行動判定フロー

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる水害です。避難行動判定フローに従い、該当する選択肢にチェックをつけて、自宅における災害リスクととるべき行動を確認しましょう。(このフローは、内閣府が公表する避難行動判定フローに沿って作成しています。)

表面のハザードマップで自分の家のある場所を確認し、印をつけておきましょう。

自宅付近は色が塗られていますか?

はい

いいえ

色の塗られていないでも、周りと比べて低い土地や崖のそばなどでお住まいの方は、豊橋市からの避難情報を参考に必要に応じて避難しましょう。

屋内待機または自主避難

浸水の危険があっても

①家屋倒壊等想定区域外である。

②浸水する深さよりも高いところにいる。

③浸水しても水がひくまで我慢できる。

水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

はい

いいえ

高齢者(要支援者)

乳幼児連れ(妊婦中)

安全な場所にいて、頼ることのできる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

安全な場所にいて、頼ることのできる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難

が発表されたら、安全な親戚・知人家などに避難しましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難

が発表されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。

警戒レベル4 避難指示

が発表されたら、安全な親戚・知人家などに避難しましょう。

警戒レベル4 避難指示

が発表されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。

## 避難で注意することを知ろう

立退き避難の心得

いざというときのために、日ごろから避難に必要なものを整理し、家族で避難の準備について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

●すばやく避難をしましょう

避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断して、自主的に安全な場所に避難をしましょう。避難の際はブレーカーを落し、火の元を確認しましょう。

●車での避難は控えましょう

水深30cmを超えると、多くの車はエンジンが停止するおそれがあるため、車での避難は控えましょう。

●水がひきよまでもた歩さずに歩きましょう

歩くことのできる水深は50cm程度が限界です。道路が浸水する前に避難するようにしましょう。

●子どもやお年寄りや安全に避難をしましょう

小さな子どもやお年寄りの避難に協力しましょう。子どもについてはロープで大人とつなぐことも有効です。

危険箇所を事前に確認しよう

崖や盛土の近く

堤防の近くや道路などの盛土に囲まれた地域は、排水能力が低く水が溜まりやすくなっています。自宅や学校、勤務先など、事前に確認しておきましょう。

土砂災害の恐れがある場所

大雨が降ると地盤の崩れ、けがれや土石流等の土砂災害が発生する恐れがあります。大雨時は近づかないようにするとともに、自宅や土砂災害警戒区域等の付近にある場合は、早めの避難を心がけましょう。

地下空間

地下空間は、浸水が始まると水圧の影響で地下が崩れやすくなり、地上から流れてくる雨水が原因で、脱出が困難になります。早めに地上へ避難しましょう。

地下道(アンダーパス)

大雨・洪水などにより、地下道(アンダーパス)は真っ先に浸水します。地域の地下道の場所を把握し、もしものときに備えて道路を閉じられている場合、早めに地上へ避難しましょう。

浸水が継続する期間を知る

浸水継続時間を表示した図では、洪水により浸水深0.5m以上が継続する時間を表しています。浸水継続時間が長くなるおそれのある地域にお住まいの方は、6ページの避難行動判定フローに従って、事前の避難を行うようにしましょう。

●どこで確認できるの?

浸水継続時間を表示した図については、下記の2次元コードもしくはURLよりご確認ください。

紙田川

境川(老津)

## 避難で注意することを知ろう

避難するときの動きやすい服装を心がけよう

ヘルメットや防災用品などで頭を保護する

非難持ち出し品は両手でリュックに入れて背負う

足元を確認するための傘や杖

けがを防ぐために長袖と長ズボン

履き慣れた運動靴 長靴は水が入ると動けなくなるため×

●浸水継続時間が長い地域で立退き避難を行わなければならないときは

浸水の長期にわたる想定される地域で、立退き避難をせず自宅の2階等に避難した場合は、次のような問題点が起こります。浸水継続時間が長い地域の住民は、適切な避難行動をしましょう。

●外部との連絡が断絶

●生活環境が悪化する

●衛生環境が悪化する

●定期的な診療が受けられない など

●電気、ガス、水道が止まる

●孤立した場合

●情報を得られず不安になる など

●浸水継続時間が長い地域で立退き避難を行わなければならないときは

浸水の長期にわたる想定される地域で、立退き避難をせず自宅の2階等に避難した場合は、次のような問題点が起こります。浸水継続時間が長い地域の住民は、適切な避難行動をしましょう。

●外部との連絡が断絶

●生活環境が悪化する

●衛生環境が悪化する

●定期的な診療が受けられない など

●電気、ガス、水道が止まる

●孤立した場合

●情報を得られず不安になる など